

令和7年度上越市・妙高市在宅医療・介護連携推進協議会

第2回入退院時連携推進部会を開催しました

○ 9月8日(月)に、第2回入退院時連携推進部会を開催しました。参加者は、部会メンバー8人、上越地域在宅医療推進センター1人、事務局4人でした。

○研修会開催に向けて、上越地域医療センター病院と打ち合わせをした結果を事務局より報告し、具体的な内容について、部会内で意見交換を行いました。



【上越地域医療センター病院との打ち合わせの報告】

○研修会の内容(案)

目的

- ① 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制を構築するために、入退院時の支援に関わる専門職が相互の役割を理解し、連携が円滑に行われるようになる。
- ② 医療と介護の連携の継続研修に向けたモデルとなる。

日程(いずれも 16 時～ 1 時間程度)

1 回目:令和 7 年 10 月 17 日(金)

2 回目:令和 7 年 11 月 28 日(金)

参集者(部会委員、事務局含む)

病院職員 10 名、介護支援専門員・地域包括支援センター・訪問看護師 25 名

テーマ

病院における退院支援の連携を学ぶ

その他

ケアマネ協議会から病院における退院支援に関して事前に質問を確認し、それを反映させた内容とする。

【部会内で意見交換】

- ・病院の概要や特徴、退院支援プロセス等については、患者支援センターの滝沢委員が発表し、在宅側から退院支援における介護支援専門員の役割及び機能等については、和栗部会長が発表する。
- ・在宅側から、ゴミが散乱している家や経済困窮を理由にサービスを利用できない人、通院が難しい人等、様々な在宅ケースについて具体例を話し、病院側に退院後の生活を知ってもらうとよいのではないかと。
- ・ADL が回復しても退院後の独居は難しい事があり、病院とケアマネジャーが折り合いをつけて調整を図るケースがある。このような事について、双方で話し合えるとよい。
- ・部会委員は各グループのファシリテーターとなり、グループワークで今後の業務につながるようなプラスの意見が出るようにする。
- ・2 回目の研修会では、医療行為が必要な事例をもとに、入院～退院～在宅生活に戻るまでの間、どの時期にどんな情報交換ができるとよいのか、各々で意見を出し合って共有し、気づきを持ち帰れるとよい。

【今後のスケジュールについて】

- ・上越地域医療センター病院で行う研修会については、今後 MCS で情報共有等を行いながら準備を行う。

【次回の部会について】

- ・令和8年1月頃に開催予定。